

エコクリーンプラザみやざき 排出源等及び環境モニタリング調査結果について（平成24年 5月調査分）

(財)宮崎県環境整備公社では、エコクリーンプラザみやざきの安心・安全な施設運営が行われていることを確認するために、公害防止協定書に基づき、モニタリング調査（排出源等モニタリング調査、環境モニタリング調査）を定期的に行っております。平成24年5月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成24年6月22日

財団法人宮崎県環境整備公社

○排出源等モニタリング — 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準	
試料採取日	平成24年5月15日	同左	平成24年5月16日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	宮崎県環境科学協会		
検査項目					
01. ばいじん	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫黄酸化物	ppm	10未満	10未満	10未満	50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm	30未満	30未満	30未満	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm	60	50	52	100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	21	15	10未満	30 ppm以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	測定月でない	測定月でない	測定月でない	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

調査結果の評価

各調査項目ともこれまでと大きな変化は無く、全ての項目で評価基準を満足しています。



焼却溶融施設

○排出源等モニタリング — 防災調整池排水（敷地境界）調査

調査地点	敷地境界排水	評価基準
試料採取日	平成24年5月23日	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	
検査項目		
01. 水素イオン濃度(pH)	7.7	5.8以上 8.6以下
02. 生物学的酸素要求量	0.6	160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質(SS)	2	200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	30未満	日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 大腸菌群数(最確数法)	490	(参考値 MPN/100ml)
06. 化学的酸素要求量	3.7	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	0.72	120 mg/L以下
08. 電気伝導率(EC)	28	(参考値 mS/m)
09. 透視度	100	(参考値 cm)
10. 溶存酸素	7.2	(参考値 mg/L)
11. 塩化物イオン	13	(参考値 mg/L)
12~31. 鉱物油等(※4)	測定月でない	項目により個別に設定
32~47. PCB等(※5)	測定月でない	項目により個別に設定
48. ダイオキシン類	測定月でない	10 pg-TEQ/L以下



防災調整池排水（敷地境界）

調査結果の評価

今回は、11項目の調査を実施しました。
この結果、全ての項目で評価基準を満足しています。

○環境モニタリング — 公共用水域（周辺河川）の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準
試料採取日	平成24年5月23日	同左	同左	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左	
01. 水素イオン濃度(pH)	7.7	7.7	7.4	6.5以上 8.5以下
02. 生物学的酸素要求量	0.5未満	0.5未満	3.4	3 mg/L以下 (だら池は2mg/L)
03. 浮遊物質(SS)	1未満	1	3	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	7.7	8.9	7.9	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg/L)
05. 大腸菌群数(最確数法)	2400	9200	1300	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPN)
06. 化学的酸素要求量	3.6	3.3	8.9	(参考値 mg/L)
07. 全窒素	0.69	1.7	0.66	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導率(EC)	25	17	15	(参考値 mS/m)
09. 透視度	100以上	100以上	60	(参考値 cm)
10. 塩化物イオン	9.9	9.0	7.3	(参考値 mg/L)
11~19. カドミウム等(※2)	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
20~39. PCB等(※3)	測定月でない	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
40. ダイオキシン類	測定月でない	測定月でない	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下

調査結果の評価

今回は、10項目の調査を実施しました。
この結果、石崎川無名橋では大腸菌群数が評価基準値を超え、だら池流入水では大腸菌群数及び生物学的酸素要求量が評価基準値を超えていました。
だら池流入水については、透視度が悪いことから、水中のプランクトン等の増殖が影響しているのではないかと考えています。



上畑川上流堰 石崎川無名橋 だら池流入水

※1：調査結果表の「未満」と表示されている値は、定量下限値のことです。

○排出源等モニタリング — 浸出水調整池地下水

調査地点	浸出水調整池地下水	評価基準
試料採取日	平成24年5月23日	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	
検査項目		
01. 水素イオン濃度(pH)	8.7	(参考値)
02. 電気伝導率(EC)	210	(参考値 mS/m)
03. 塩化物イオン	15	(参考値 mg/L)
04. カドミウム	mg/L	0.003 mg/L
05. 全シアン	mg/L	検出されないこと
06. 鉛	mg/L	0.01 mg/L
07. 六価クロム	mg/L	測定月でない
08. 砒素	mg/L	0.01 mg/L
09. 総水銀	mg/L	0.0005 mg/L
10. アルキル水銀	mg/L	検出されないこと
11. 透視度	cm	(参考値 cm)
12~30. PCB等(※3)	測定月でない	項目により個別に設定
31. ダイオキシン類	測定月でない	1 pg-TEQ/L以下



浸出水調整池地下水

調査結果の評価

今回は、3項目の調査を実施しました。
この結果、全ての項目でほとんど変化はなく安定しています。

※2：検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、亜鉛、銅の9項目
※3：検査項目は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素、ほう素など20項目
※4：検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など20項目
※5：検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど16項目

(特記事項)

過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所市民生活課、国富町役場町民生活課に備え置いてあります。